

自立活動（肢体不自由教育）

令和4年度特別支援学校教員資格認定試験問題

自立活動に関する科目（Ⅱ）

（問1～問6 全6問）

時間 9：30～11：10（100分）

（受験上の注意）

- 1 監督者の「**始め**」の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子は、表紙を除いて2ページです。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答は、論述式です。
- 4 解答用紙は、問別に6枚あります。はずしたクリップは再度使用するので、なくさないようにしてください。
別に下書き用紙が1枚あります。
全ての用紙に、
 - ①受験番号欄
受験番号を記入してください。
 - ②氏名欄
氏名を記入してください。
- 5 解答は、問と同じ番号の解答用紙に記入してください。
解答用紙のおもて面に書ききれない場合は、うら面に記入してください。
解答用紙の※欄は採点欄です。何も記入しないでください。
筆記用具は、HBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- 6 この試験の解答時間は、「**始め**」の合図があってから、**100分**です。
- 7 当該試験開始から終了までは、退出できません。ただし、用便や発病等やむを得ない場合には挙手をし、監督者の指示に従ってください。
- 8 監督者の「**やめ**」の合図があったら、解答を直ちにやめ、解答用紙と下書用紙が回収されるまで、着席したままで待っていてください。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問1 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』（平成30年3月，文部科学省）には，「自立活動が指導の対象とする「障害による学習上又は生活上の困難」は，WHOにおいてICFが採択されたことにより，それとの関連で捉えることが必要である。」と記されている。このことについて，ICFの構成要素とその具体例，及びICFの構成要素と自立活動との関連について，具体的に説明しなさい。

問2 筋肉のストレッチ効果について，以下の言葉を用いて説明しなさい。

柔軟性 伸張反射 運動強度 ウォーミングアップ リラクゼーション

問3 以下の医療的ケアについて，術式や方法，合併症やそれらに関する注意点についてそれぞれ説明しなさい。

- (1) 気管切開
- (2) 胃瘻
- (3) 導尿

問4 肢体不自由特別支援学校小学部1年生の児童，診断名は脳性まひである。食事，排泄，移動など日常生活動作の全ての面で補助を必要としている。健康面では，呼吸が浅く，痰を自分で吐き出すことができずに，喉から頻繁にゼコゼコと音が聞こえたり，唾液でむせたりすることもしばしばある。また，筋緊張状態が強く，動こうとするとギュッと力を入れるため，すぐに疲れて授業の後半になるとぐったりとしてしまうこともある。さらに，突然の音に敏感に反応し，呼吸が乱れ心拍が速くなり，姿勢も崩れるため，遊びや学習を中断することもよくある。

- (1) 本児について，指導と指導上の配慮事項を，健康面での課題を整理して述べなさい。
- (2) 本児について，健康の維持・増進を図るための具体的な取組を述べなさい。

問5 肢体不自由特別支援学校小学部5年生の男児，診断名は二分脊椎である。水頭症は併存していない。移動時は，車椅子を使用している。下肢に補助具を装着することはあるが，座位から立位への姿勢変換及び歩行は自力ではできない。自己導尿は確立している。便座への移乗時には，介助が必要である。体幹を保持し，安定した学習時の姿勢や上肢の操作（書字動作等）を行うことはできるが，5年生になってから，授業時間が進行するにつれ，体幹上部から深く前傾させた姿勢をとることが多くみられるようになってきた。教員から「背中を真っ直ぐにしようね」と声をかけられると，自分で修正することは可能である。最近，右凸の側弯がみられるようになってきた。

- (1) 今後の学校生活において，予想される側弯の影響を三つ書きなさい。
- (2) 側弯に対して，学校でできるアプローチを具体的に三つ書きなさい。

問6 肢体不自由特別支援学校小学部6年生の脳性まひの男児，診断名は脳室周囲白質軟化症（PVL）である。各教科等の学習は，準ずる教育課程で学んでいる。

移動は独歩，下肢は伸展傾向が強く，内反尖足が左右に見られる。歩行時には短下肢装具を使用しているが，装具を装着せずに立位を保持することはできる。上肢の動きに関しては，書字動作は可で補助具等は使用していない。摂食時にはスプーンを使用しているが，食べこぼしが見られる。

算数の筆算を行う際に，位をそろえて書くことが難しく，斜め書きや桁をとばして計算をしてしまい誤答することがある。また，黒板の文字を書き写すことが難しく，時計の針や細かい目盛りを読むことにも困難が見られる。

学校生活では，日常会話に問題はないが，友達に一方的に話しかけてトラブルになることがある。また，授業中に突然大きな声を出す時があり，周りから注意を受けたことがある。

- (1) 本児の自立活動の指導目標を設定し，その理由を述べなさい。
- (2) (1) で設定した指導目標を達成するために選定した指導内容と項目について，項目間を関連付けて選定した理由を述べなさい。
- (3) 問題文中の下線部について，自立活動の時間の指導と教科の学習とを関連付けて取り組む場合，算数科の学習効果を高めるためにどのような指導方法（配慮や手立て）が考えられるか述べなさい。